

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	国際政治経済学
専攻	国際コミュニケーション
課程	修士
入試種別	一般入試（秋）
試験科目	専門科目
科目詳細	言語学
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

人間言語の文が、1.5語などということではなく、1語、2語というように自然数を使って数えられる数の単語で出来ていること、そしてその文の長さに関りがなく、英語、日本語から例を引いて示せること、そしてその離散無限性が人間言語に特有の中核的な特徴であると、人間のコミュニケーションにおいて果たす言語の役割の考察、動物のコミュニケーションシステム等との比較において具体的に示せること。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	国際政治経済学
専攻	国際コミュニケーション
課程	修士
入試種別	一般入試（秋）
試験科目	専門科目
科目詳細	異文化コミュニケーション
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

問題：「文化相対主義」とは何かを説明し、その意義と限界を具体的な例を挙げて論じなさい。

解答のポイントを以下に列挙する。

- 1) 文化相対主義の概念を適切に定義できていること。
- 2) 文化相対主義の意義について、異文化理解の促進や自文化中心主義の相対化などの観点から説明できていること。
- 3) 文化相対主義の限界について、普遍的価値との緊張関係の観点から説明できていること。
- 4) 文化相対主義の意義と限界について、具体例を挙げながら論じることができていること。
- 5) 設問全体を通して、論理的かつ一貫性のある文章で記述できていること。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	国際政治経済学
専攻	国際コミュニケーション
課程	修士
入試種別	一般入試（秋）
試験科目	専門科目
科目詳細	比較文化論
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

グローバル化について明確な定義ができていないこと。その問題点について整理し指摘できていること。文化との関係について具体例を示しながら論理的に説明できていること。

出題と自己の研究テーマの関連について、論理的かつ具体的な事例を挙げて説明できていること。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	国際政治経済学
専攻	国際コミュニケーション
課程	修士
入試種別	一般入試（春）
試験科目	専門科目
科目詳細	言語学
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

構造分析、コーパス分析、談話分析、会話分析、言語景観分析など、多岐にわたる言語分析の方法の中から、すでに確立されているものを選定できていること。

テーマ設定、データ収集、分析、知見導出の流れについて、基礎的な理解に基づき、論理的に記述できていること。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	国際政治経済学
専攻	国際コミュニケーション
課程	修士
入試種別	一般入試（春）
試験科目	専門科目
科目詳細	異文化コミュニケーション
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

異文化コミュニケーションの理論・概念の中から、事象の分析に適切なものを選定し、批判的に論じることができていること。具体例の提示、そこから見出される可能性と課題の抽出、そして理論・概念による事象の読み解きという一連の流れが、専門的な基礎理解に基づき、論理的に記述できていること。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	国際政治経済学
専攻	国際コミュニケーション
課程	修士
入試種別	一般入試（春）
試験科目	専門科目
科目詳細	比較文化論
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

異文化理解における主体と客体の存在を認識し、その不平等性を適切に捉えて説明できていること。主体としてどのような態度で異文化に向き合おうとするのか、明確に説明できていること。

自身の研究テーマと関連付け、具体例を挙げて論理的に記述できていること。